

平成 28 年度パイロット事業実施集団の選定について

パイロット事業を実施する集団の候補については、トラック輸送状況の実態調査結果から、つぎの輸送品類を扱っている発荷主・着荷主及びその運行を行っている運送事業者を事務局で選定する。

【軽工業品】拘束時間が長く、13 時間超の割合が多くなっている。

【農水産品】荷役時間が長くなっている。このうち生鮮食品が、荷主都合による手待ち時間が長く、附帯作業として検品が多くなっている。

平成 28 年度の対象集団は 1 集団とし、平成 29 年度は、28 年度の実施状況を勘案し別の集団とするか、継続して実施するか検討する。

上記の内容で協議会の了承が得られたら、事務局で事業者に参加依頼を行い、平成 28 年度第 1 回協議会（5 月予定）に事業者を報告、了承をいただき決定。

あわせて、厚生労働省実施事業または国土交通省実施事業か選定結果を報告。